

2. 台東区のまち並みの現状

(1) まち並み構成要素の状況

1) 土地建物用途

- 商業地域（用途地域）が区域の大半を占める台東区では、特に上野地域及び浅草地域、浅草橋地域において、商業・業務施設が集積しています。上野駅、浅草寺といった人の流れの中心に商業施設が集中する広域商業地としての性格が強いと考えられます。
- 業務系施設は南部の浅草橋、東上野、秋葉原、江戸通り周辺に集中しており、問屋街等、専門的性格が強い一方で、その他の問屋街が、今日では小売を併用した業態となり、店先を演出する傾向が増えています。
- 職住近接の歴史があり、純然たる住宅市街地のまとまりが少なく、根岸や谷中の一部を除き、専用住宅、小規模事務所、工場併用住宅、店舗併用住宅などによる複合的な市街地が主体となっています。

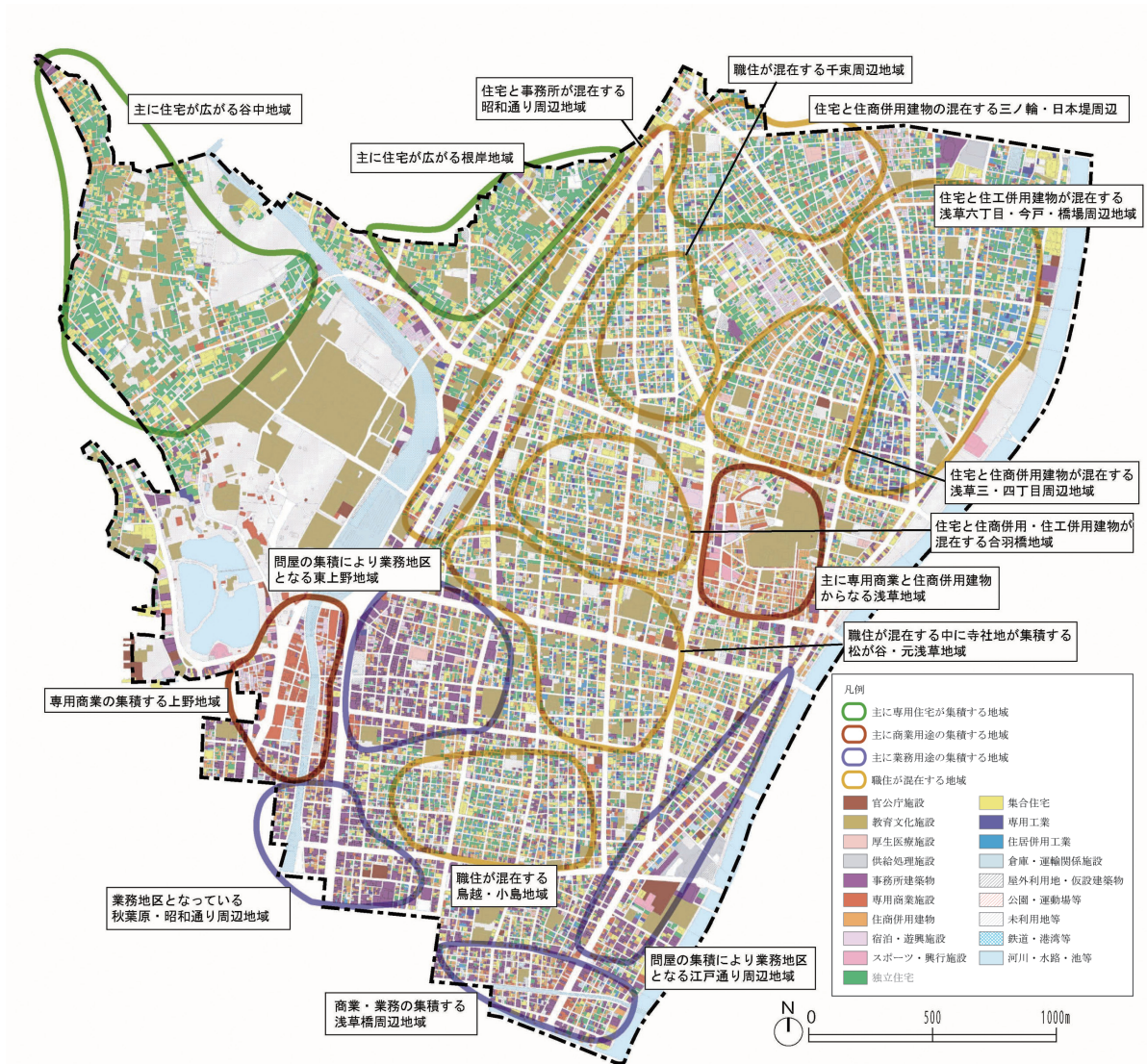


図 1-13 まち並み構成図（出典：平成 18 年度土地利用現況図）

2) 建物高さ

- 上野地域及び幹線道路沿いを除き、低中層のまち並みが主体となっています。
- 商店街や問屋街、あるいは住宅地のコミュニティ毎で建築年代、更新時期が近くなる傾向があり、建物高さもまとまりが感じられ、スカイラインの形成に重要な役割を果たしていると考えられます。
- 一方で、近年低層のまち並みに近接した高層建築物や超高層建築物が見られるようになり、一部で周辺市街地の景観との不調和や、眺望景観を損ねるとの意見も聞かれます。

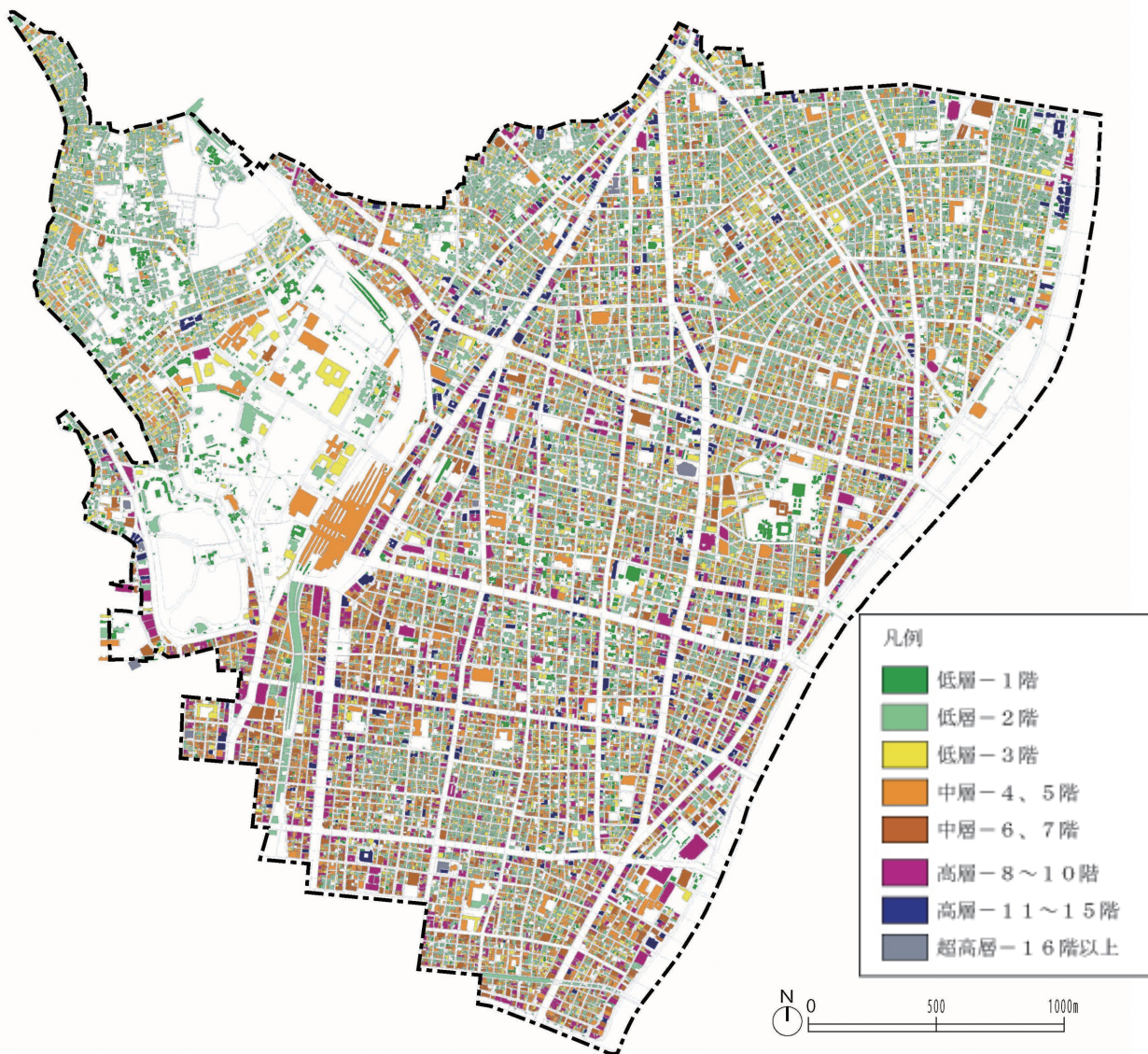


図 1-14 建築階数の分布－1 (出典：平成 18 年度土地利用現況図)

3) 建築物の色彩 (既往調査より)

- 外壁は全体的には低彩度で暖色系の色彩が基調となっています。
- そのような中で、仲見世の赤壁など、要所に用いられるやや鮮やかな色彩が引き立っています。

4) 広告物の概況

- 上野広小路、春日通り沿いなど商業施設の集積と相まって、多彩な広告物がまち並みの要素として大きな面積を占めています。
- 一部では派手な動光照明や映像広告等があり、周辺との調和を欠いた過剰な演出が見られます。
- 上野駅前では屋上広告物が多く見られ、その大きさや色彩など、やや秩序を欠いています。
- 上記を除くと、比較的穏やかな広告景観といえます。

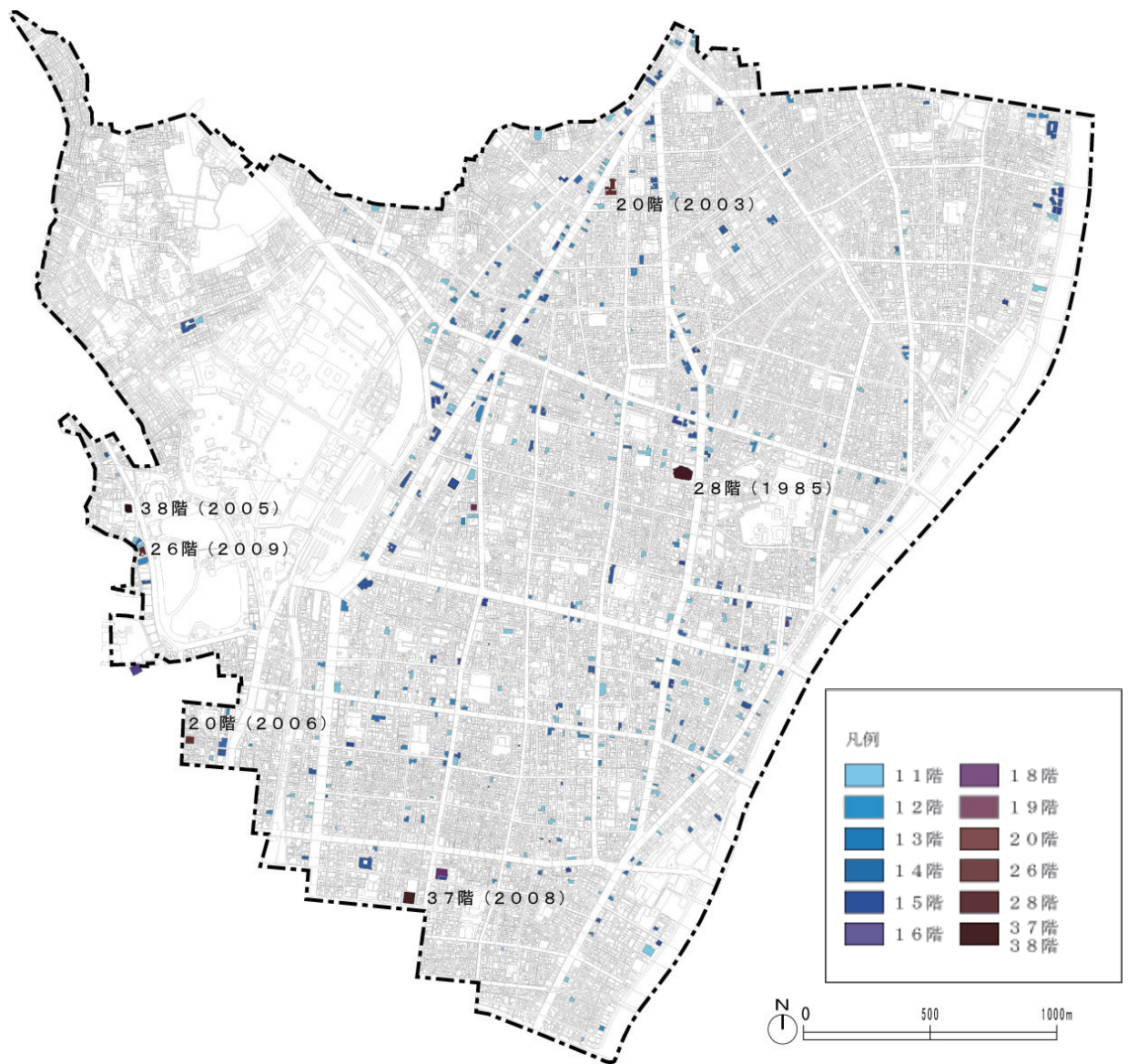


図 1-15 建築階数の分布—2 高層建築物 (平成 23 年 10 月末現在)

5) 緑地の分布

本郷・上野台地上、隅田川沿い微高地に存在する緑の他は全体的にまとまった緑が乏しく、その中で点在する寺社、街路樹、公園などの敷地の緑は貴重なものとなっています。特に地形構造との関係で、次の緑は重要と考えられます。

- 本郷台地に分布する寺社や旧岩崎邸庭園の緑の連なり
- 上野台地の縁辺部及び頂部に分布する寺社・墓地の緑の連なり
- 隅田川沿いの緑の連なりと相まった浅草寺の緑

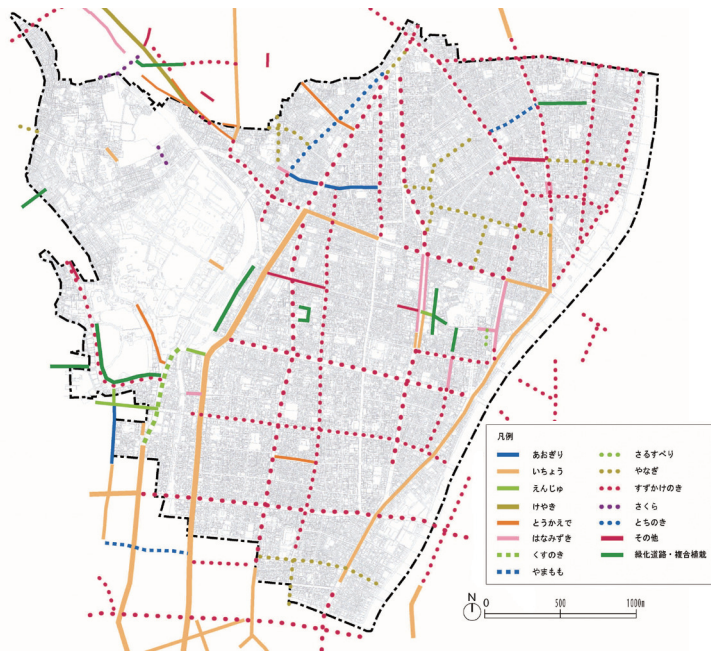


図 1-16 街路樹の分布と種類 (平成 13 年 3 月現在)

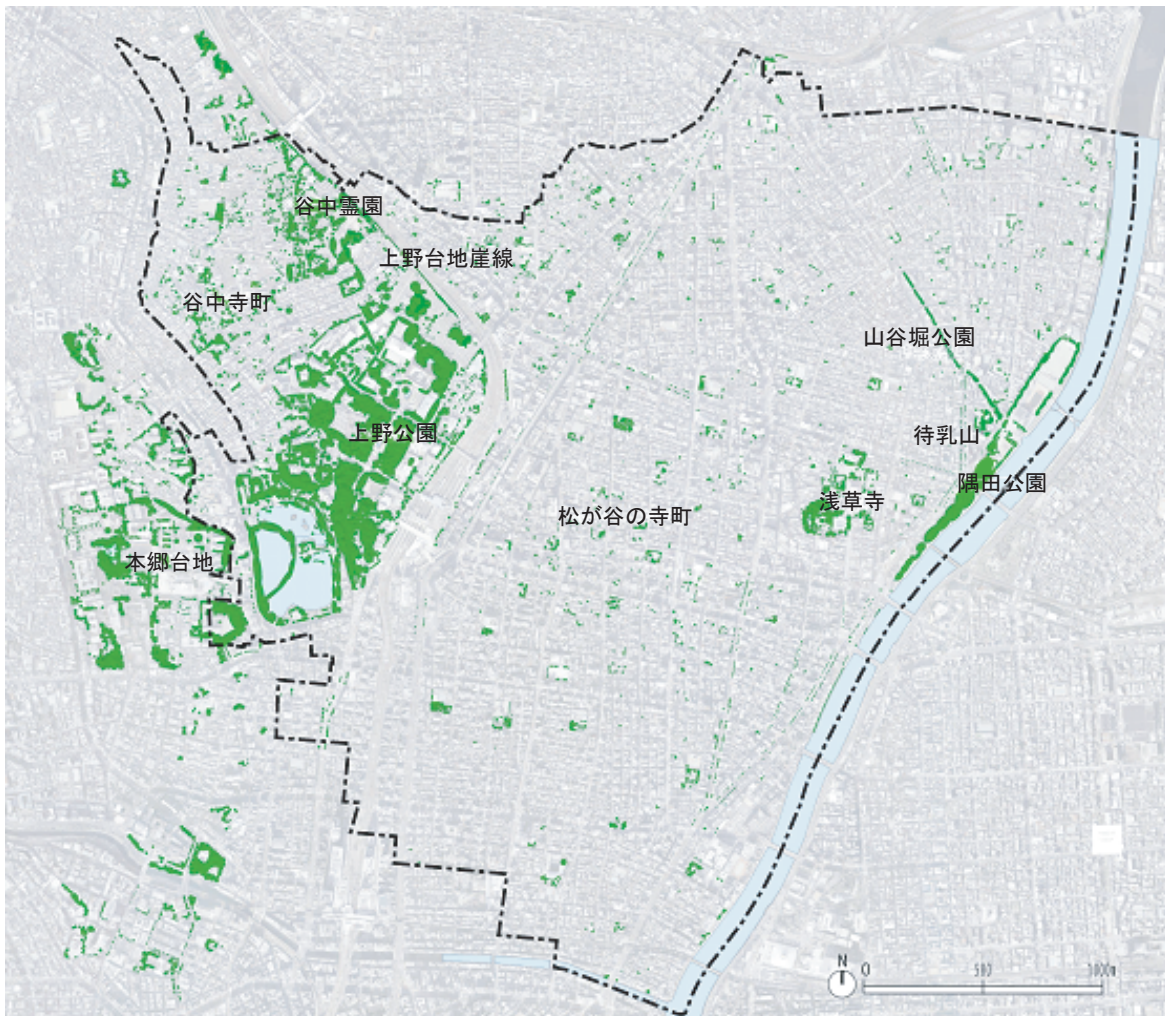


図 1-17 緑地分布図